

総 評

数学は難しめで、国語は易しい出題でした。5教科合計の平均点は標準的で、昨年の北海道入試に近い難易度の出題となりました。

今回のテストで、中1・中2の学習内容であいまいな箇所が見つかった人や、問題文の読み違いによるケアレスミスがあった人もいると思います。得点力アップのチャンスですから、ミスの傾向をつかみ、本番で同じミスを繰り返さないようにしっかり対策しましょう。

実際の入試では、なぜか解けない問題や予想と異なる問題に焦る場面もあると思います。そんな場面では、他の受験生も皆同じように感じているはずです。問題の全体像を見て、落ち着いて考えましょう。つまづいた問題に固執しないことも大切です。50分という時間を有効に使い、取れるはずの問題を確実に得点しましょう。

国 語

易しい出題となりました。

㊦は、問三の得点率がやや低くなりました。昨年度の入試でも「慣用句」が出題されました。「慣用句」や「四字熟語」などの語句の意味を確認しましょう。㊦は、問五(2)の得点率がとても低くなりました。傍線部から書き抜く部分が離れていたため、難しかったようです。ほぼ同じ内容を探す場合には、キーワードとなる言葉に着目すると見つけやすくなります。㊦の問二(2)では、最初の部分を「女御の」とした解答が多くありました。主旨は帝の命令であるため、「おはし」という尊敬語は使われないことをとらえる必要がありました。㊦は、大幅に得点率が低くなる問題はありませんでした。入試において、会話文や資料などから読み取ったことをもとに、条件に合わせて表現する力は、とても大切になります。

数 学

難しい出題となりました。

①の問6、作図はほぼ毎年出題されます。まずは求める点はどのような点か、図に落とし込んでみましょう。③問3(2)アは、文字や座標、関数の式が整理しきれていない解答が散見されました。限られた解答時間内でも、図を利用して座標や辺の長さなどを正確に表しましょう。④問2、証明すべき辺や三角形を導く段階でつまづいた人が多くいたようです。最終的に証明したい内容から逆算し、どの図形に手をつけるべきか考えましょう。

⑤は近年の入試では必ず押さえておきたい単元です。決して難しくありませんが、読解量が多いため、時間配分に失敗すると、解ける問題を取りこぼすことになりかねません。入試や道コンの過去問に取り組むときは、時間を測り、50分を有効に使う練習を行うと効果的です。

社 会

やや難しい出題となりました。

地理分野では、③A問3の複数の資料を利用してまとめる記述問題が難しく、得点率が低くなりました。

歴史分野では、②問4の年代並べかえ問題が、近代の社会・経済に関するできごとということもあり、非常に得点率が低くなりました。各時代の社会・経済は、点数の差がつきやすいところなので、苦手としている人は入試前に時代ごとの特色を確認しておきましょう。

公民分野は、比較的よくできていましたが、①問3(1)③は「半数以上」「2分の1」などとした解答が目立ちました。間違えた人は、憲法改正だけでなく、法律の制定など、国会の議決における表決数と合わせて確認しておきましょう。

理 科

標準的な難易度の出題でした。

①は基本的な内容が多く出題されました。間違えた問題や、迷った問題はしっかりと復習しましょう。②は全体にできていたものの、問3(1)②を間違えた人が多かったようです。1年生で学習した内容で、忘れていたのだと思います。見直しておきましょう。③は、実験結果を読み取って思考する問題が多くありましたが、問2(2)は難しかったものの、他の問題はよくできていたようです。④は難しく感じた人が多かったかもしれませんが、基礎的な内容が多くありました。間違えた人や自信がなかった人はもう一度確認してください。⑤は、問4は決して易しい内容ではありませんでしたが、正解できた人は少なくなかったようです。一方、問5は難しかったようです。

英 語

標準的な難易度の出題でした。

英語は①のリスニングの時間が長く、②以降の解答時間が限られます。1つの問題に時間をかけすぎず、時間配分を考えて問題に取り組みましょう。

①のリスニング問題は、問題によって得点率が低くなりました。問1や問2は、問題と問題の間の時間が非常に短いです。また、問4は英作文が絡む問題で、英文の指示を聞き取れたかどうかのポイントになりました。

②の問3の英作文の問題は、冠詞や時制、スペルミスなどに注意をして、確実に得点したいところです。

③のAのような問題は、先に問題に目を通していき、問われていることをおさえてから、問題に取り組みましょう。情報量が多い場合もありますが、内容に振り回されず、問題に正確に答えることを意識しましょう。